

作品解説

日本の送魂儀礼—盆の送り—

撮影 坂本要 編集・整音 春日聡 38分

上映 2017/3/14 映像民俗の会 長野大会

[映像内容]

1、傘で送る

傘ブク

- | | | |
|-------------|-----------------|-----------|
| 1-1 志摩甲賀 | 三重県志摩市甲賀 | 1976/8/13 |
| 1-2 高知県 沖ノ島 | 高知県宿毛市沖ノ島 | 2007/8/16 |
| 1-3 大分県米水津 | 大分県佐伯市米水津色利・宮野浦 | 2015/8/15 |
| 1-4 志摩立神 | 三重県志摩市立神 | 1999/8/14 |
| 1-5 東栄町足込 | 愛知県東栄町足込 | 2014/8/15 |

傘を出す盆踊り

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| 1-6 大分県蒲生 | 大分県佐伯市蒲生 | 2015/8/15 |
| 1-7 ひがさき踊り | 岡山県金光町佐方 | 2010/8/26 |
| 1-8 白石踊り | 岡山県笠岡市白石島 | 2010/8/16 |

2、踊りで送る

- | | | |
|-------------|----------------|-----------|
| 2-1、水窪大念仏 | 水窪中学校 | 1993/7/31 |
| 2-2 大河内念仏踊り | 長野県天竜村大河内 | 1996/8/16 |
| 2-3 和合の念仏踊り | 長野県阿南町和合 | 1992/8/13 |
| 2-4 名号の放下 | 愛知県新城市（旧鳳来町）名号 | 1998/8/14 |

3、念仏で送る

大念仏の詠唱

- | | | |
|------------------|--------------------|-----------|
| 3-1 五方の払い | 静岡県浜松市（旧水窪町）向市場 | 1993/8/14 |
| 3-2 和合の念仏踊り（大念仏） | 長野県阿南町和合 | 1992/8/13 |
| 3-3 田峯 | 愛知県設楽町田峯 | 1992/8/17 |
| 3-4 水窪の送り念仏 | 静岡県浜松市（旧水窪町）水窪川河川敷 | 1993/8/16 |

エンドロール

(写真) 御座（三重県志摩市）甲賀（三重県志摩市）大王崎（三重県志摩市）国崎（三重県鳥羽市）
1998/8/13～16

[制作経過]

この映像は私が念仏踊りの成立と変遷というテーマのために、現地調査の資料として撮影したものです。民俗映像資料としての撮影したものであります。研究者の視点に立つ映像であります。1978年（1976年甲賀の映像は石田雅彦撮影）からすでに40年近くたっており、当時行われている行事も行われなくなってしまうたり、大きく様変わりしています。最後の写真にでてくる志摩市御座の灯籠持ちと傘ブクは再度調査した時は黒の喪服になっており、あでやかな和服姿は消えていました。すでに手持ちの調査映像は700本を越えており、その中から14ヶ所を選んで、春日聡氏の手を借りて編集した作品です。

[作品解説]

全国の念仏踊り、盆踊りが三部構成になって紹介されます。

1、傘で送る。2、踊りで送る。3、念仏で送る。

一般に盆踊りを含む、念仏踊りは念仏を唱えながら踊ると考えられています。掛け声や合いの手に南無阿弥陀仏の唱えが入るものもありますが、多くの念仏踊りは「念仏の唱え＋踊り」という構成になっていて、念仏を唱えて踊るものはありません。時衆や融通念仏の踊りは踊り念仏といい、こちらは念仏を唱えて踊ったとされています。この映像の和合の念仏踊りを見てください。3-2は踊りの前もしくは途中の念仏の詠唱で踊りは伴いません。2-3は踊りの部分で念仏ではなく「豊年だ豊年だ」と掛け声で踊っています。このように多くの念仏踊りは念仏の詠唱と踊りがはっきりわかれています。踊りはでな衣装や飾り物、激しい踊りをともなう風流踊りになっています。したがって念仏踊りは念仏に風流踊りが合わさったものといえます。

風流踊りには風流傘が伴います。元来傘は依り代の意味を持っていたと考えられます。盆の風流は転じて靈魂を傘に付けて、送っていくもので、高く掲げた盆灯籠と同じ意味もっています。映像では傘に故人の遺品などを吊り下げて送っていきます。1-5の足込では傘ブクの下で念仏を唱えます。これらを傘ブクというのはキャプションにあるように祇園祭りにみられるような傘と鉾が合わさったからと言われますが、鉾の形は消えて言葉のみが残っています。このような霊の依り代の傘は1-4の志摩立神の陣囃子のように囃して送るというようなことが元となっています。

これらの行事は念仏踊り・大念仏といわれ、始めに念仏が唱えられ、踊りがあり、傘の出る行列で送っていくという順になりますが、映像での説明の都合上、傘・踊り・念仏の順になっています。

(参考文献) 坂本要『民間念仏信仰の研究』法蔵館 2019

[略歴]

1947年生。埼玉大学文化人類学卒業。東京教育大学大学院民俗学専攻。仏教民俗研究会主催。現筑波学院大学客員教授。

映像活動 大学時 杉並シネクラブ、以降孝寿聡氏の博物館映像研究所・西荻座禅会とともに活動する。